

# 商工会議所LOBO（早期景気観測）

-2018年11月調査結果-

## 調査概要

- 調査期間 2018年11月8日～30日
- 調査対象 200社
- 回答企業 111社
- 回収率 55.5%

### ※DI値（景気判断指数）について

DI値は、売上・採算・業況などの各項目についての判断の状況を表す。

ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。

従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

なお、従業員の項目については、DI値ゼロを基準として、プラス値は人員不足感を表し、マイナス値は人員過剰感を表している。

DI値 = (増加・好転などの企業割合) - (減少・悪化などの企業割合)

業況・採算：(好転) - (悪化) / 売上：(増加) - (減少) / 従業員：(不足) - (過剰)

## 旭川市概況

※全産業の11月の状況を見ると業況DIは、前月より12.6ポイント改善の▲21.6となった。

2017年9月以来15ヶ月連続でマイナス水準を推移している。

※向こう3か月の全産業における、先行き見通し業況DIは▲28.8、当月に比べ7.2ポイントの悪化を見込んでいる。

## 旭川市全産業 DI 値（前年同月比）の推移

	2018年 6月	7月	8月	9月	10月	11月	先行き見通し 2018年12月～ 2019年2月
業況	▲23.9	▲19.3	▲19.4	▲30.9	▲34.2	▲21.6	▲28.8
売上	▲18.2	▲7.9	▲12.8	▲25.2	▲20.7	▲7.2	▲22.7
採算	▲21.8	▲17.5	▲21.1	▲31.5	▲25.2	▲21.6	▲26.1
仕入単価	▲36.4	▲39.8	▲42.6	▲38.7	▲43.7	▲43.2	▲36.0
従業員	32.7	25.4	32.4	27.9	33.3	32.4	28.8
資金繰り	▲4.5	▲4.4	▲6.5	▲7.2	▲9.9	▲9.9	▲15.3

## 旭川市産業別業況DI値（前年同月比）の推移

	2018年 6月	7月	8月	9月	10月	11月	先行き見通し 2018年12月～ 2019年2月
建設	▲18.5	▲25.9	▲30.8	▲34.6	▲51.9	▲33.3	▲30.0
製造	▲37.5	▲28.0	▲30.8	▲26.9	▲25.0	▲16.0	▲40.0
卸売	▲30.0	▲8.3	0.0	▲33.3	▲15.0	▲5.3	▲15.8
小売	▲33.3	▲25.0	▲11.7	▲17.6	▲25.0	▲29.4	▲35.3
サービス	0.0	▲9.1	▲15.0	▲40.0	▲50.0	▲20.0	▲20.0

## 今月のトピックス（業界の声・経営上の問題点）

建設業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工事受注量の減少や資機材価格や燃料の高騰、設計単価を上回る下請施工単価の上昇により受注高、利益率が減少。(総合工事)</li> <li>・若年職員不足、技術者不足。(設備その他)</li> <li>・民間大型物件受注減少。(設備その他)</li> <li>・専門工事業だが極めて良くない。スキルの高い人材が欲しい。(設備その他)</li> <li>・競争の激化から市内での営業が苦戦し、受注高が前年を下回り業績が低迷している。(建築)</li> <li>・仕事はあるが冬期間現場がストップ。冬通しの仕事があれば。毎年の悩み。(建築)</li> </ul>
製造業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お歳暮時期でリーフ・パンフ等大きな動きがあり忙しい月。12月はクリスマス、おせち等はやり時期ものの動きのみ。イベント月では無い月は落ち込む。(印刷・出版)</li> <li>・レギュラー案件が部数及びサイズ縮小等により売上減少。その減少分をスポット案件等によるカバーが難しい状況。外注費等のコスト削減により採算は前年を確保するも用紙代の値上げが予想され先行きは厳しい。(印刷・出版)</li> <li>・製紙大手3社が値上げを表明。値上げ幅が印刷用紙20%以上。来年1月の出荷分からと強気の姿勢。(印刷・出版)</li> <li>・売上単価では減少するもトータルでは増加。採算面においても前年並で推移。(家具木材)</li> <li>・外国人材の大幅受入れには反対。社会保障の整備はもとより下請料上がらないため、賃金も上げられない。数年先が心配。(金属鉄工業)</li> </ul>
卸売業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・売上は例年よりも上がっているが、利益は売上に若干伴っていない。(機械鋼材等)</li> <li>・12月は業界として多くの受注が入る月で、2月いっぱいまで続く見込み。輸入品を多く取り扱っていることから為替の影響や運賃の値上げが懸念されるが、今年商品値上げを実施し、定番商品の売上額から徐々に増加し始めている。(その他)</li> <li>・灯油については11月に入り仕入価格が下がり傾向。販売価格も11月下旬～12月上旬に下がる予想。(その他・燃料)</li> </ul>
小売業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初雪も遅く来店客の足も鈍くアウトウェアが動く季節だが、冬らしい季節感が無いので売上が厳しい。(衣服見回品)</li> <li>・個人消費の動向。(食料品)</li> <li>・原油価格上昇に伴い仕入価格が上昇し、結果燃料油の販売価格が昨年より高くなり、初雪が遅いことも影響し暖房用燃料の出荷が鈍い。(その他)</li> <li>・従業員不足が解消されない。(その他)</li> <li>・自動車整備士の採用。(自動車)</li> </ul>
サービス業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・札幌方面の観光客の増加。上川管内、宗谷、道東は減少。9月の地震により観光客は減少しているが、新しいホテルが増加しているので新規営業増で売上増。(理美容クリーニング)</li> <li>・売上は増加の見通しだが、重油高騰(他光熱費)もあり採算は前年並み。(ホテル・旅館)</li> <li>・従業員不足が続いている。(ホテル・旅館)</li> <li>・まだ地震の影響からなのか、観光客が増えない。(飲食)</li> <li>・燃料の値上げ。(運送)</li> </ul>

## 旭川市の産業別概況

産業	概況
建設業	<p>売上 DI31.2 ポイント改善、採算 DI3.4 ポイント悪化、仕入単価 DI5.2 ポイント悪化、資金 DI ほぼ横ばい、従業員 DI8.2 ポイント減少し不足感が弱まった。総じて業況 DI は 18.6 ポイント改善となったが「悪化」から「不変」への変化が主因であり実体はほぼ横ばい。業種別では、総合工事 8 ポイント、設備・その他 13 ポイント、建築 40 ポイント改善となった。民間大型物件受注が減少との声も寄せられている。</p>
製造業	<p>売上 DI15.5 ポイント改善、採算 DI5.4 ポイント改善、仕入単価 DI12.7 ポイント改善、資金 DI3.1 ポイント改善、従業員 DI1.2 ポイント増加し不足感が高まった。総じて業況 DI は 9.0 ポイント改善となったが「悪化」から「不変」への変化が主因であり、実体はほぼ横ばい。業種別では、印刷・出版 5 ポイント、家具・木材 40 ポイント悪化、食料品 27 ポイント、金属窯業他 45 ポイント改善となった。売上単価では減少するもトータルでは増加。採算面においても前年並みで推移との声も寄せられている。</p>
卸売業	<p>売上 DI10.2 ポイント改善、採算 DI10.0 ポイント改善、仕入単価 DI3.7 ポイント改善、資金 DI9.5 ポイント改善、従業員 DI5.8 ポイント増加し不足感が高まった。総じて業況 DI は 9.7 ポイント改善となったが、「悪化」から「不変」への変化が主因であり、実体はほぼ横ばい。業種別では、食料品 5 ポイント、機械鋼材 25 ポイント悪化、繊維・衣服等 50 ポイント、その他 33 ポイント改善となった。売上は上がっているが、利益は売上に若干伴っていないとの声も寄せられている。</p>
小売業	<p>売上 DI5.2 ポイント悪化、採算 DI1.5 ポイント改善、仕入単価 DI4.4 ポイント悪化、資金 DI5.5 ポイント悪化、従業員 DI2.9 ポイント減少し不足感が弱まった。総じて業況 DI は 4.4 ポイント悪化となった。業種別では、その他 10 ポイント改善、食料品、自動車横ばい、衣料品 50 ポイント悪化となった。従業員不足が解消されないとの声も寄せられている。</p>
サービス業	<p>売上 DI10.0 ポイント改善、採算 DI10.0 ポイント改善、仕入単価 DI7.2 ポイント悪化、資金 DI 10.0 ポイント悪化、従業員 DI5.0 ポイント減少し不足感が弱まった。総じて業況 DI は 30.0 ポイント改善となったが「悪化」から「不変」への変化が主因であり実体はほぼ横ばい。業種別では、理美容・クリーニング 33 ポイント、ホテル・旅館 20 ポイント、その他 20 ポイント、飲食 50 ポイント、整備業 25 ポイント、運送 67 ポイント改善となった。まだ地震の影響からなのか観光客が増えないとの声も寄せられている。</p>